



平成23年3月1日発行

こうせい



恒生病院が、環境について取り組み始めました

エコ eco の取り組み

恒生病院ではガスヒーポンという省エネルギーの空調を設置しています。さらに昨年7月より、職員の発案でリハビリ室南側にてゴーヤによる「緑のecoカーテン」に取り組み始めました。窓の外で育てたゴーヤの葉で夏の日差しをさえぎり、室温の上昇を抑えて、冷房に使うガスを節約しガスによる二酸化炭素の排出を抑えようという、地球温暖化防止に繋がる取り組みです。昨年は試験的に行い、今年の本格的施行に向けた調査を行っています。

ゴーヤによるカーテンはすだれに比べて風通しもよく、葉から水分が蒸発するときに周囲の熱を奪うので、より涼しさを体感できます。このゴーヤはビタミンCが豊富で、夏バテ解消に効き目があり、職員給食に出そうと考えています。



大きく実ったゴーヤ



カーテンができてきました



紙ごみだけでこんなに大量に

また当院では昨年度より、紙ゴミのリサイクルも行っています。各部署で出る紙のゴミをリサイクル業者に引き取ってもらい、古紙として再利用しています。今までは機密文書類はシュレッダーにかけて燃えるゴミとして廃棄していましたが、昨年度より個人情報も含めた機密文書類もリサイクルしています。個人情報の漏洩がないように業者と契約をかわし、リサイクル工場へ直送するようにしています。紙のリサイクルは、ゴミ袋の節約と二酸化炭素の排出を抑えることができるため、一石二鳥です。

病院は24時間稼働しているので、電気や冷暖房など止めることができません。小さなことですがこまめに電気を消す、使用済み用紙の裏面をメモに利用するなど、職員一同でコツコツ取り組んでいます。



【予約診療に関するお知らせ】

当院では、待ち時間短縮を目的に一部予約診療を行っております。

予約可能日 : 月曜日から金曜日
 予約可能診察 : 午前の脳外科診察 (1 診察室のみ)



ご希望の方は診察時に医師へお申し出下さい。
 電話での予約は行っておりません。
 診察時に次回の予約をお取り下さい。

【電話番号確認のお願い】



恒生病院への電話を一般のご自宅にかけ間違いが相次いでおります。今一度、ご確認下さい。

<恒生病院電話番号>



078-950-2622

交通のご案内

電車でお越しの方...

三宮方面からは神戸電鉄「谷上」駅より、三田方面からは神戸電鉄「三田」駅より「道場南口」駅下車、すぐ。

お車でお越しの方...

中国自動車道「西宮北」インターを降り、有馬街道を三田方面へ約2km。

* 駐車場のご利用について *

病院南側に契約駐車場がございます。お車の方はこちらをご利用下さい。
 (診察を受けられた方に限り、駐車券を病院会計までお持ち頂くと3時間まで無料となります。)



外来担当医表

平成23年3月現在

【受付時間】 午前診 8:30~11:30 夜間診 17:00~18:30

		月	火	水	木	金	土
午前診 9:00~	1 診 (脳外予約診)	予約診 (田村)	予約診 (奥田)	予約診 (頃末)	予約診 (頃末)	予約診 (古瀬)	古瀬/頃末/田村 交代制
	2 診 (脳外再・初診)	古瀬	古瀬	奥田	田村	頃末	※2 奥田
	3 診 (整形)	岸本	平田	小林	原	小林	岸本
	4 診のみ 月/火/木/金 10:00~	※1 小坂	※1 小坂	藤田	※1 小坂	※1 小坂	
	5 診 (脳外初診)	頃末		初診	池田		
午後予約診		奥田					
夜間診 17:00~	1 診 (脳外)	古瀬	頃末	奥田	田村	中溝	
	2 診 (内科)				小坂		

※1 月・火・木・金の内科診は検査のため午前10時より診療開始です。

※2 第5(土)の奥田診は休診となります。

★ 1診は予約の方のみとなります。

予約診の受診方法については、受付にてご確認ください。

★ 救急搬送や緊急手術などにより、急な変更がある場合がございますのでご了承下さい。

患者の権利と義務

全ての患者は個人として人格と価値観を尊重され、医療従事者との信頼、相互協力関係のもとで誠実な医療、看護を受ける権利を有しています。そのため恒生病院では患者の権利とそれに伴う義務を定めています。

権利

1. 良質な医療を平等に受ける権利
 患者は誰でも社会的地位、民族、国籍、宗教、障害の有無によることなく最善の医療を平等に受ける権利があります。
2. 十分な説明と情報を得る権利
 患者は自分が受ける治療や検査に関して分かりやすい言葉で十分に理解できるまで説明や情報の提供を受ける権利があります。
3. 自己決定する権利
 患者は十分な説明と情報提供を受け、医師や病院の選択、治療方法を自ら決定する権利があります。
4. 自分が受けた医療について知る権利
 患者は自分の病気や受けた治療について知る権利があり、カルテの開示などを求める権利があります。
5. 個人情報を守られる権利
 患者は診療に関する個人情報やプライバシーを厳しく守られる権利があります。

義務

6. 患者は自身の健康状態や考え方を医療従事者に正確に伝えてください。
7. 患者は自身が受けている医療に関して十分に理解し、納得するまで質問してください。
8. 患者は他の患者の治療や療養生活に支障をきたさないようにしてください。

無料送迎バス

病院から無料送迎バスの運行もございます。
 送迎ルートや時刻表については、直接病院総合受付窓口までお問い合わせ下さい。(代) 078-950-2622

恒生病院の理念と方針

理念

誠実な医療・介護を通じて社会に貢献する

方針

- ・脳神経外科を中心とした救急医療に情熱を持って取り組み、地域医療に貢献します。
- ・患者さまの尊厳を守り人権を尊重し、安心して安全な医療・介護を提供します。
- ・絶えず新しい知識と高度な技術の習得に努め、地域から信頼される施設を目指します。
- ・職員一人一人が生きがいとやりがいを持って全人格を医療・介護に捧げられる職場を実現します。
- ・法規範を遵守し、開かれた施設として情報を公開し、第三者評価を積極的に受け入れます。

施設管理者(院長) 古瀬 繁

医療機能評価

をご存知ですか

近年、高齢化の進展、疾病構造の変化、医療技術の進歩等により、医療に求められるものが高度化、多様化しています。医療システムへの要請においては量的に整備すること以上に質的に保証することが強く調されるようになり、国民に対して医療提供状況に関する正しい情報を提供していくこと、良質な医療提供を推進し確保していくことが重要な課題となりました。

そこで「財団法人日本医療機能評価機構」が病院を対象に第三者評価を行い、病院の現状の問題点を明らかにする取り組みを始めました。その結果、機能改善が認められた病院に対して認定証を発行します。認定を受けた病院は、日本医療機能評価機構のホームページから誰でも検索できるようになっています。

病院機能評価の項目として、「病院組織の運営と地域における役割」や「患者の権利と医療の質および安全の確保」等四百三十もの項目があります。今までに何度かの改定が行われており、バージョン2.0から6.0の5種類があります。

恒生病院は、平成十八年バージョン5.0の病院機能評価を取得しており、現在ではバージョン6.0の受審に向け職員が一丸となって取り組んでおります。

★新人職員紹介★

平成22年4月から入職した、新人看護師3人組をご紹介します♪よろしくお願致します！



城

昨年四月に入社した城です。まだ未熟な点がありますが、病院のスタッフや患者様との接点を通して一つ一つ学んでいく看護師になりたいと思います。よろしくお願致します。

毎日笑顔で仕事を頑張りながら、ダイエットも少しずつですが頑張っていきたいと思います。社会人として看護師としてもまだまだ未熟ですが、先輩方の指導をしっかり受け、日々成長できるように頑張っていきたいと思います。



西塚

私の今の目標は、患者様一人一人に優しく接し、患者様に慕われる看護師になることです。知識面も技術面もまだまだ未熟であり、慌てたり、理解はしていても行動に移すことができなかつたりしているため、落ち着いて自分の知識を確認しながら、日々の努力を忘れず頑張りたいです。



松田

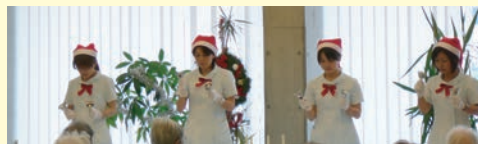
恒例の、院内音楽会を開催しました♪



平成22年12月11日、恒例の院内音楽会クリスマスコンサートを開催しました。今回はホルン演奏者 小坂智美さん、佐藤友貴さんをお招きし、クリスマスソングや懐かしの名曲を披露して頂きました。また、恒生病院看護部がハンドベル隊を結成し、業務の合間に練習した「ふるさと」「きよしこの夜」を演奏し、大盛況の中終演となりました。



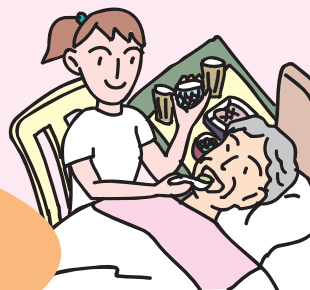
会場は満席になりました



次回は平成23年6月11日(土) あじさいコンサートの予定です。みなさんふるってご参加下さい♪

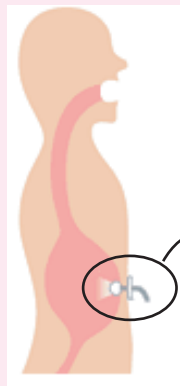


「脳卒中になり、嚥下障害があると言われた」
「高齢になり食事や水分を摂るといつもむせてしまう」



そんな日が来る前に知っておこう！

「胃ろう」の話



胃ろう

胃ろうとは？

何らかの原因で口から食事がとれない場合の栄養摂取方法のひとつです。内視鏡を使ってお腹から胃に通じる小さな穴を開け、ここに管を通して栄養剤やお薬を注入します。

胃ろう以外の栄養摂取方法として、経鼻栄養（鼻から胃に管を通し、栄養を注入する）や中心静脈栄養（内頸・鎖骨下静脈に管を入れて持続的に高濃度の点滴をする）もありますが、感染や消化機能の消失、患者さまの苦痛、肺炎のリスクなど管理の難しさがあり長期の使用は難しいと言えます。

一方、胃ろうは確実に流動食を注入できる経路として安定しており、不快が少ない、誤嚥の危険が減る、口から食べるリハビリがし易いなどのメリットもあります。

以前は手術でこの処置を行っていましたが、近年内視鏡で同処置を行うことが可能になり、PEG（ペグ）と呼ばれます。

自分や家族が「胃ろうが必要」と言われたとき、胃ろうの意味をよく理解し、在宅で過ごすのか、病院・施設を利用したいのかも併せて、医師と十分に話し合い考えていく必要があるでしょう。



よくあるご質問

Q1. 食事を口からとれますか？また、元に戻せますか？

A1. はい。胃ろうをつくっても、可能な方は口からの食事はできますし、口から十分な栄養がとれるようになれば胃ろうは不要になります。胃ろうの管を抜くと、お腹の穴は自然に閉じてしまいます。



Q2. 在宅介護はできますか？

A2. はい、できます。胃ろう用の注入食の購入方法や胃ろうの扱い方、介護保険サービスの利用についてご相談に応じています。

Q3. お風呂には入れますか？

A3. はい、入れます。シャワーはもちろん、全身湯船につかっても大丈夫です。

PEG（ペグ）は低侵襲（受ける人の体に及ぼす負担が少ない）な手術ですが、なにぶん受けられる方は、ご高齢で栄養状態も悪く、脳卒中などの重篤な基礎疾患をもっておられる方が多いです。ほとんどの患者さんでは何も起こりませんが、ごく稀に合併症が起り、入院期間が延びたり、手術を含めた処置を必要とする場合もあります。



胃ろうについてもっとよく知りたい方は医師、看護師に、胃ろうの方が利用できる介護保険のサービスについてはソーシャルワーカー（地域医療連携室）にお気軽にご相談下さい。